

## 《事業者向け》放課後等デイサービス評価表

公表日: 令和6年 4月 3日

事業所名: 佐賀整肢学園 在宅サポートセンターオークス 放課後等デイサービス ピクニック

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%					・以前よりスペースが広がった為、利用者一人ひとりの姿に合わせた環境作りを工夫していきたいです。
	②	職員の配置数は適切であるか	17%	67%	17%		・同施設内の職員による応援体制を整えている。	・制度上の職員配置数よりも多く配置しているが実務となると足りなく感じる。より良い療育環境を整え、様々なニーズに対応していく為にも職員配置数を検討していく必要がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%				・トイレ、浴場、車椅子移動を想定した廊下など適所に利便性も兼ねたバリアフリー化をしている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	83%	17%				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%				・評価表のアンケート調査結果を職員間で共有して、業務改善につなげている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	83%	17%			・ホームページ上で公開している。	
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	83%	17%			・支援センター等の研修に参加しています。 ・様々なテーマで施設内研修を実施している。	・知識や学びが広がるよう、様々な研修に今後も参加していきたいです。
	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				・定期的にあセスメントを実施しておりニーズや課題把握をする事で計画作成につなげている。	
	⑨	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	33%	17%	50%		・基本的には、聞き取りや行動観察による把握をしています。相談員や訓練での評価に基づき状況把握する場合があります。	
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%				・支援体制や利用状況により計画の立案や児童の特性に合わせ検討しています。	・職員全体で話し合う時間を確保し、様々な案を出しながら翌月の予定を立てていくことに今後も努めていきます。
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%				・季節や運動、社会性等、また個別の障害特性を意識した活動プログラムを提案しています。	・今後も製作、運動、クッキング等様々な活動を取り入れ、楽しめるように工夫したいです。
	⑫	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%				・集団や個別に応じて課題を設定しています。 ・学校終了後や休日に応じて活動プログラムを設定している。	・見通しが持てるようにその日の流れと一緒に確認したり、次に何をするのか声掛けをしたり、一人ひとりがスムーズに切り替えができるよう引き続き支援していきたいです。

《事業者向け》放課後等デイサービス評価表

	チェック項目	はい	どちらでもない		未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
			いい	えい			
適切な支援の提供	⑬ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%					
	⑭ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	83%	17%			・休校日のミーティングが出来ていない為、記録や申し送り表等で把握に努めています。日頃より職員間で声を掛け合いながら情報共有に努めている。	・長期休暇中のミーティング機会が少ないので、詳細な記録対応が必要。
	⑮ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%				・毎日のミーティング内で前日の支援内容や利用時の様子等を振り返り情報共有を行っている。 ・ミーティングの際に振り返りをしながら、気づきについてその都度記録し対応しています。	・留意点等こまめに申し送り表に記入し、いつでも確認できるようにしておきます。
	⑯ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%				・サービス提供記録は毎回の利用時に記録を徹底しており、モニタリングの際に活用しています。	
	⑰ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				・定められている期間でのモニタリングの実施、また日々の支援記録やアセスメントをもとに児童の状況をモニタリングしており計画の必要性を判断している。	
	⑱ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービスを行っているか	83%	17%			・ガイドラインを周知することで、基本活動に即した支援に努めている。	
関係機関	⑲ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	83%	17%			・必要に応じて児童発達支援管理責任者が参画している。	
	⑳ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	67%	33%			・保護者に尋ねることが増えています。 ・直接的な情報共有はできていないが、保護者を介して把握、対応できるよう努めています。 ・個別の教育支援会議に参加することで担当者との顔合わせや、児童の状況等について情報共有を行っている。	・学校との情報共有が難しい場合は保護者から予定変更等知らせてもらえる事が多い為、助かっています。今後も柔軟に対応できるようにしていきたいです。
	㉑ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	83%	17%			・利用開始前には医療的ケアの内容について十分な聞き取りを行い、主治医との連絡体制を整えます。また医療的ケアに対する主治医意見書をお願いケアの実施を行っています。	
	㉒ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%				・受け入れ、移行前には聞き取りや実際に見学を行い、状態の把握に努めています。	・スムーズに移行できるように、今後も様々な情報を参考にしながら受け入れ体制を整えていきたいです。

《事業者向け》放課後等デイサービス評価表

	チェック項目	はい	どちらでもない		未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
			いい	え			
や保護者との連携	⑳ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%				・移行先の事業所、相談員への情報提供を行い、切れ目のない支援に協力しています。	
	㉑ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	83%	17%			・佐賀県療育支援センター研修会に参加しています。	
	㉒ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		17%	83%			・以前は施設行事等の際に地域の方々との交流がありました。コロナ禍以降は機会に恵まれていないのが課題です。
	㉓ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	67%	17%	17%			
	㉔ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83%	17%			・保護者と共通理解できている部分もあれば職員間のみで把握している場合もあります。 ・送迎時や申し送りノートを利用して、共通理解しています。	
	㉕ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	17%	33%	50%			・保護者の様々な困り感に対応できるよう、事例等を参考にしながら職員同士で学ぶ機会を増やしていきたいです。
保護者への説明責任等	㉖ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				・契約締結、変更の際に書面をもって説明しています。	
	㉗ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%					
	㉘ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				・苦情に迅速に対応できるように、委員会を設置しています。	
	㉙ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	83%	17%			・ピクニック通信や利用に関する必要な情報を発信しています。連絡体制については公式LINEアカウントを利用したり、紙で配布したりしています。	・今年度は例年に比べて発行回数が少なかったため、改善に努めていきたいです。
	㉚ 個人情報に十分注意しているか	100%				・取り扱いには十分に注意しております。	
	㉛ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	83%	17%				
	㉜ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		33%	67%		・音楽演奏会や面浮立等で交流する機会がありました。	・感染症対策に努めながら、様々な行事を通して交流機会作りをしていければと考えています。

《事業者向け》放課後等デイサービス評価表

チェック項目		はい	どちらでもない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	③⑥ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	83%	17%				・マニュアルがあるので、職員や保護者にしっかり周知できるように努めていきたいと思います。
	③⑦ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	83%	17%			・防災委員会を設置しており、定期的に防災避難訓練を実施。児童も参加しています。	・訓練がある時は積極的に参加していますが、実施回数が少ないと感じています。定期的な訓練を提案していきたいです。
	③⑧ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				・身体拘束虐待防止委員会を設置し、事例検討や研修を行っています。	
	③⑨ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%				・計画説明時に身体拘束についての説明を行い、同意を得ています。 ・身体拘束については、必要性や代替案を模索し職員間で協議しております。また拘束が必要になった場合は、支援計画への記載と拘束が恒常的にならないよう、モニタリングを行い必要性を検討しています。	
	④⑩ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%				・食物アレルギー対応が必要な場合は主治医意見書に基づき対応方法の把握と実施に努めています。	
④⑪ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%					・ヒヤリハットの記入が少ないように感じます。報告を定着させ、リスクマネジメントが強化できるように努めていきたいです。	